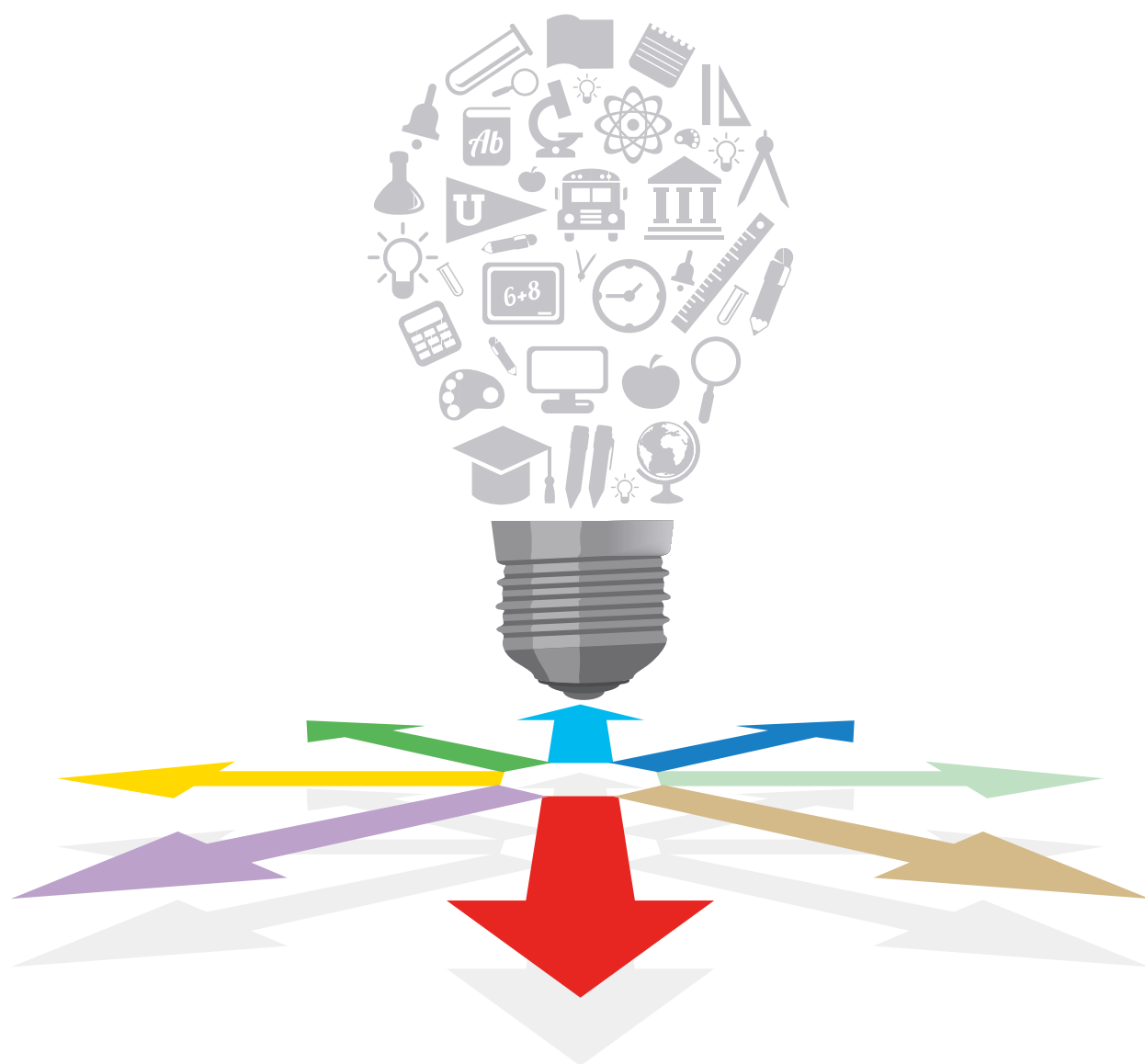


平成29年
大学院情報工学府
進学ガイド
2016-2017



国立大学法人 九州工業大学



Kyutech

Kyushu Institute of Technology

九州工業大学は、産業界でとても有名な日本の国立大学です。
大企業に多数の人材を輩出し、インドネシア、マレーシア、タイ等にも
本学で博士号を取得した大学教員や研究者が多数います。

Kyushu Institute of Technology (Kyutech) is a national university very wellknown in the industrial world in Japan. Many of our graduates have joined scientific and engineering lines of leading companies. We are also proud to have produced a number of academics who completed our Ph.D. programs and teach in Asian countries such as Indonesia, Malaysia and Thailand.

九州工業大学ホームページ (Kyutech official website)

<http://www.kyutech.ac.jp/> (日本語)

or

<http://www.kyutech.ac.jp/english> (English)

情報工学部学生係 (Student Affairs Branch of IIZUKA Campus)

jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp



1. 情報工学府の特色ある教育プログラム 1

2. 九州工業大学大学院情報工学府の概要 2

3. 大学院入学から修了まで 4

4. 九州工業大学大学院情報工学府入学までの流れ 6

5. 九州工業大学大学院情報工学府における経済支援制度 8

6. 在学生・修了生の声 10

7. 情報工学府 就職先一覧 12

8. スチューデント・レジデンス 13

1. 情報工学府の特色ある教育プログラム

本学府では修了後のキャリアパスを意識することを目的に「コースモジュール」として体系だった学びが可能です。

ICTアーキテクトコース

次世代を牽引する情報システムの開発は、特に重要な産業分野ですが、本コースでは、産業界や他大学と連携して、この分野におけるリーダ的技術者となれる、高度な知識とスキルを備えたICTアーキテクトを養成します。長期インターンシップやPBLを通して、ICTに関わる最新技術や社会における情報技術の関わりあいや、実際の利用を学び、ICTアーキテクトとしての高度な技術力を身につけ、さらに、自ら課題を見つけ、計画に基づいて自律的にそれを解決する実践的なシステム開発能力を養います。

連携機関

- ・高度情報通信人材育成支援センター (CeFIL)
- ・九州経済連合会 (九経連)
- ・カーネギーメロン大学ソフトウェアエンジニアリング研究所 (CMU-SEI)
- ・九州大学大学院システム情報科学府情報知能工学専攻社会情報システム工学コース (QITO)

需要創発コース

実践的演習を通じて、新たな需要を創発できる人材の養成を目指すコースで、産学官協働による実践的な大学院教育プログラムです。コースの中核となる大学院実践演習では、提示される実際の問題に対応して、プロジェクトの立ち上げ、チームの形成、問題点の把握、課題の設定、ソリューション(解決方法)の提案、仕様書の策定、試作品の作成、納品に至るまでの過程に取り組みます。

プロジェクトの 具体例

- ・全方位移動型車椅子の実用化に向けての改良(地元メーカー)
- ・スクールバスのチケットシステム構築(地元情報システム会社)
- ・地域医療連携支援(病院)

クラウドコンピューティングコース(Cloud Q9)

enPiTは、文部科学省「情報技術人材育成のための実践教育ネットワーク形成事業」として、全国の大学が連携して、最先端の情報技術を実践的に活用できる人材の育成を目指す取り組みです。enPiTのクラウドコンピューティング分野では、大阪大学、東京大学、東京工業大学、神戸大学、九州工業大学の5大学が中心となって、クラウドコンピューティングの先端教育を実施します。

enPiTの一部である本コースでは、クラウドに関する情報技術に加え、PBLで必要となるソフトウェア開発手法、プロジェクトマネジメント手法についても学びます。夏期には、大阪大学、神戸大学等と合同で集中合宿を行い、また後期には遠隔PBLを実施します。

グローバルインフォマティクスリーダーズコース

国内外での英語による授業科目の履修や研究指導、海外の学術交流協定校(国立台湾科技大学大学院経営学研究科等)の講師陣による経営学の科目の修得、本学府の人文科学・社会科学系の専任教員による大学院科目の修得により、リーダーとして国際的に活躍できる高度情報技術者の育成を目指すコースです。

2. 九州工業大学大学院情報工学府の概要

コンピュータと情報システムを基盤とし、さまざまな産業分野や人間生活に資する高度な技術開発や創造性豊かな研究に携わる人材を養成します。

- ① 博士前期課程では、情報科学・工学の知識を基礎とし、問題を発見し解決する能力及び論理的なコミュニケーション能力を身に付けた上で、各専門分野で活躍できる能力を有する人材を養成します。
- ② 博士後期課程では、博士前期課程の素養と能力に加え、実践的な研究開発の経験に基づき、深い専門知識と高い志をもって自立して活躍できる能力を有する人材を養成します。

課 程	専 攻	専 門 分 野	基礎となる学部の専門学科群 ／博士前期課程の専門分野群
博 士 前 期	先端情報工学 Advanced Informatics	知 能 情 報 工 学	知 能 情 報 工 学 科
		電 子 情 報 工 学	電 子 情 報 工 学 科
	学際情報工学 Interdisciplinary Informatics	シ ス テ ム 創 成 情 報 工 学	シ ス テ ム 創 成 情 報 工 学 科
		機 械 情 報 工 学	機 械 情 報 工 学 科
		生 命 情 報 工 学	生 命 情 報 工 学 科
	情報創成工学 Creative Informatics	情 報 創 成 工 学	(上 記 5 学 科)
	博 士 後 期	情報工学 Computer Science and Systems Engineering	知 能 情 報 工 学
電 子 情 報 工 学			電子情報工学専門分野
シ ス テ ム 創 成 情 報 工 学			システム創成情報工学専門分野
機 械 情 報 工 学			機械情報工学専門分野
生 命 情 報 工 学			生命情報工学専門分野
情 報 創 成 工 学			情報創成工学専門分野

概 要

情報システムの基盤となるソフトウェア・ハードウェア、ネットワークの知識を修得し、コアコンピュータサイエンスやICT技術を含めた情報科学・情報工学の基盤となるシステムやその要素技術の高度化をもたらす先端的な開発を行うことのできる人材を養成します。コンピュータサイエンスや情報システム開発などの教育研究を行う「知能情報工学専門分野」、エレクトロニクス、コンピュータ・LSIや情報通信ネットワークなどの教育研究を行う「電子情報工学専門分野」の2専門分野で構成します。

ICT技術を応用したシステム創造のための知識・技術、デジタルエンジニアリングやロボティクス、生命工学に関連した情報システムの開発やバイオインフォマティクスなどの対象応用分野の高度な知識・技術を修得し、情報科学・情報工学の基盤的成果に活用・展開して、新たな学際領域を開拓する人材を養成します。ICT技術を応用したシステム創造のための教育研究などを行う「システム創成情報工学専門分野」、デジタルエンジニアリングやロボティクスなどの教育研究を行う「機械情報工学専門分野」、生命工学に関連した情報システムの開発やバイオインフォマティクスなどの教育研究を行う「生命情報工学専門分野」の3専門分野で構成します。

社会情勢の変化により産業界で発生したさまざまな問題から課題を拾い上げ、最新の情報技術を原動力に、実務的な解決・実現を図る道筋作りのための知識を修得し、社会のニーズに基づく産学連携を推進して、情報技術で社会を駆動していく姿勢を身に付けた人材を養成します。「情報創成工学専門分野」は、専任の教員に加え、情報工学部5学科に対応する5専門分野にまたがる教授陣で構成します。

情報科学・情報工学の高い専門性に基づいて、情報技術の発展に有用な先端的な基盤技術を開発したり、いろいろな分野の科学技術との融合により実在する種々の課題に対処できる革新的な情報システムを構築したり、更にIT技術の将来を先取りし社会の仕組みまでを変革するグローバルリーダーとなり得るような、最先端の情報工学的アプローチを総合的に取り扱うことのできる姿勢を身につけた人材を養成します。従来の特攻や狭い研究分野の壁を越えた融合型の特攻であり、博士前期課程の3専攻6専門分野で構成します。

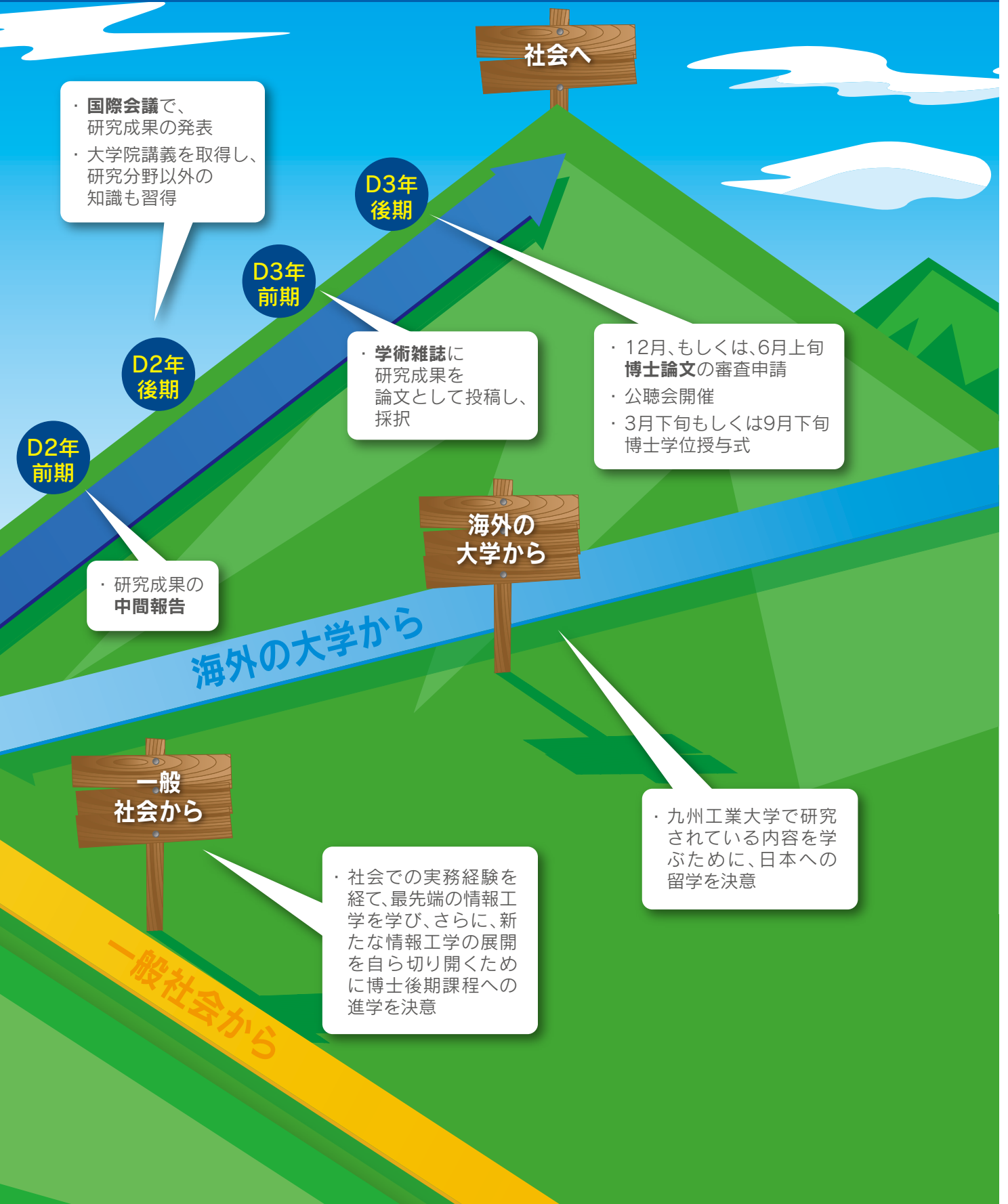
3. 大学院入学から修了まで

より広く、より深く、より高く、大学院での学習機会を提供します。

以下に博士前期課程の2年間及び博士後期課程での3年間の流れの一例を示します。



博士後期課程



4. 九州工業大学大学院情報工学府入学までの流れ

Application Procedures for Admission to Graduate School of Computer Science and Systems Engineering of Kyutech

1

希望する研究分野の教員を見つける Finding a potential supervisor

九州工業大学ホームページなどを見て、自分が指導を受けたい研究分野の教員を探します。

Search a potential supervisor who conducts research in a specific field you are interested in on the Kyutech website.

2

教員にコンタクトをとる Contacting the potential supervisor

教員又は事務部にメール連絡し、研究室に受け入れてもらえるかどうか打診します。メールには、学歴や自身の研究テーマも記載してください。

Contact the supervisor or the university admissions office by e-mail to discuss opportunities for you to participate in the laboratory. In your email, please include your academic backgrounds and your research topics.

3

教員との面談 Arranging a meeting with the potential supervisor

出願する前に、希望する教員と面談などにより十分に意思疎通を行ってください。学会の場で会ったり、インターネット面談を行ったりすることもあります。

Before applying for admission to Kyutech, please discuss fully with the supervisor to see if your research topics correspond to the supervisory competences. You can meet your potential supervisor at academic conferences or, in some cases, you may have an interview with the supervisor on the Internet.

4

入学試験への出願 Registering for the admissions test

出願期間 4月入学者 5月～6月 12月～1月(2次募集)
10月入学者 5月～6月 ※ホームページ等で必ず確認してください。

海外からの出願の方法は2通り

- ①日本で : 日本在住の知人に、代理で出願手続き。
- ②日本以外の国から: 各国から検定料を送金し、書類を直接郵送。

※検定料30,000円。②の場合は送金手数料(4,000円)を上乗せして振り込む必要があります。

※(日本政府)国費留学生は検定料不要です。

Registration Periods: June-July or January (April enrollment). June-July or June (October enrollment). You can check the details on the Kyutech website.

You can register for the admissions test from abroad in either of the following two ways.

(1) From within Japan: We accept proxy registration. Ask an acquaintance living in Japan to register for the test on your behalf.

(2) From outside Japan: Pay admissions test fees by bank transfer and send application forms and all the necessary documents directly to Kyutech.

Admissions Test Fees: 30,000 yen (If you send the test fees from outside Japan, you need to pay an extra charge of 4,000 yen for remittance.) * Japanese Government Scholarship Students do not need to pay for the admissions test.

5

受験 Taking the admissions test

九州工業大学飯塚キャンパスで受験するか、インターネット面接で受験します。(インターネット面接は原則として社会人及び外国在住の外国人のみ、協議のうえ実施することがあります。)

受験の方法は、上記2・3で先生に相談してください。

You need to take the admissions test at the Kyutech IIZUKA Campus or have an online interview. Please discuss with your prospective supervisor (cf. 2, 3) the best possible way to take the test.

6

合格者発表 Announcement of test results

合格者の発表は本学ホームページで閲覧可能です。
The test results will be announced on the Kyutech website.



7

入学手続 Admissions Procedure

入学試験に合格したら、入学手続を行います。

入学金282,000円。(他に、授業料535,800円/年)ただし、(日本政府)国費留学生は納入不要です。

入学料と授業料は、全額または一部を免除する制度があります。希望者は入学時に申請が必要です。

ただし、入試成績・在学中の成績、経済状況によっては免除が認められないこともあります。

Once you are accepted, you need to complete the admissions procedure.

Admission Fee: 282,000yen (Apart from this, you need to pay tuition fees of 535,800 yen per year.)

* Japanese Government Scholarship Students do not need to pay the admission fee nor the tuition fees.

All or part of the admission fee and of the tuition fees can be waived upon application.

However, application for fee exemptions may sometimes be disapproved due to your admissions test results, poor academic achievements and personal finance.



8

留学生のみ 入国ビザ取得手続 Applying for a visa

日本に入国する前に、入国ビザを取得する必要があります。手続は、大学事務部がサポートします。

Before landing in Japan, you need to obtain a visa. The university admissions office will assist with your visa application.



9

入学 Enrollment in Kyutech

すべての手続が終わったら、本学へ入学します。

After completing all the above procedures, you will be enrolled as a Kyutech student.

募集要項は九州工業大学のホームページから閲覧できます。

Application guidelines are available on the Kyutech website.

<http://www.kyutech.ac.jp/>

	制 度	対 象	制度概要
奨学金	九州工業大学 100周年記念事業 (奨学事業)	博士後期課程の 社会人新入生	本事業は、学ぶ意欲と能力のある大学院博士後期課程社会人学生を対象に、入学時の経済的支援を実施することを目的としています。 【奨学金】入学金相当の半額141,000円を給付する。採択人数は10名。
	九州工業大学 100周年記念事業 (奨学事業)	留学生	本事業は、学ぶ意欲と能力のある博士後期課程の留学生を対象に、経済的支援を実施することを目的としています。 【奨学金】基本額 48,000円/月 年間10名程度。 ※他の奨学金を受給している場合は、その差額分を本奨学金として支給する。
学会参加旅費等	各教育プログラム による経済支援	全学生	本学独自の教育プログラムのうち、補助金、国や地方公共団体からの支援、民間企業等外部の団体からの支援、大学独自の支援等により、教材費、国内外への旅費、その他の経済支援を行っているものが多数あります。
	学会発表等に関する 奨学金	全学生	国外で開催される国際的な学術研究機関、団体が主催する学会又は研究会等で研究成果の発表等を行う際の費用の一部を支援することにより、国際感覚の涵養及び修学・研究意欲の向上を図る。 【奨学金】一人一回につき 30,000円~100,000円。 ※地域により異なる。在学中に3回まで。
雇用制度	日本学術振興会 特別研究員	博士後期課程学生	日本学術振興会による、優れた若手研究者に研究に専念する機会を与えることによって我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士後期課程在学者に研究奨励金を支援する制度です。 特別研究員 DC1(博士課程後期第1年次在学学生) 200,000円/月 DC2(博士課程後期第2年次以上在学学生) 200,000円/月
	リサーチ・ アシスタント(RA)	博士後期課程学生	教育的配慮の下に、研究補助者として本学が行う研究プロジェクト等に参画させ、これに対する給与を支給して経済的支援を行う制度で、勤務1日当たり6千円、月額6万円を支給します。 ※但し、国費留学生又はそれに準じる学生、COE 研究支援員として雇用されている者は除きます。 ※平成 27 年度実績 31 名
	ティーチング・ アシスタント(TA)	全学生	教育的配慮の下に教育補助業務に従事させ、これに対する給与を支給して経済支援を行う制度です。 ※平成 27 年度実績 248 名 (博士前期課程・博士後期課程の合計かつ前学期・後学期全科目の延べ人数)
住居	スチューデント・ レジデンス	全学生	1 棟 20 戸、1 戸あたり 3 室の日本人学生と外国人留学生とのルームシェア方式です。 各戸にはキッチン、シャワールーム、トイレ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、テーブル、エアコン等を備えています。また、各部屋にはベッド、机、クローゼット、照明器具、エアコン等を備えています。 入居期間は原則として1年間です。(申請により延長することも可能です) 寄宿料(月額)15,000円(食費・生活費等は含まない) ※留学生は7,000円減免されることがあります。 光熱水料(月額)約5,000円~10,000円程度
	国際交流会館	留学生	各部屋にはキッチン、冷蔵庫、ベッドやその他の家具・調度品を備え、他に共通施設として研修室、談話ホール、洗濯室等があります。 入居期間は原則として6ヶ月以内です。 寄宿料(月額)単身室5,900円、夫婦室9,500円、家族室14,200円(食費・生活費等は含まない) 光熱水料(月額)約5,000円~10,000円



スチューデント・レジデンスでの留学生と日本人学生の交流。



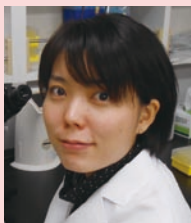
大学から学生生活の支援を受け、電気自動車製作。大会に出場までを支援。



国際交流会館。留学生向けの宿舎です。

6. 在学生・修了生の声

様々な分野で、国内外で、活躍しています。



情報科学専攻
H23年9月 博士後期課程修了
博士（情報工学）
Hiroko Takazaki
高崎 寛子
現在：独立行政法人理化学研究所研究員

「何かを突き詰めてみたい」そう強く思う人に、博士課程への進学をお勧めします。もちろん、苦労することは沢山あります。それでも、世の中の誰も出したことのない結果を、一つひとつ自分の手で積み重ねていく過程は、本当にワクワクと楽しいものです。最終的に博士論文という形になった時には、達成感でいっぱいになります。担当教員の先生には大変お世話になりましたが、その他に、学科・学部全体でも博士課程の学生を支援する取り組みがあり、多くの方々に大事に育てて頂いたのだと、本当に感謝しています。



情報システム専攻
H24年9月修了
**Aphaiwong
Junchangpood**
(タイ人留学生)
現在：タイ王立キングモンクット大学講師

I have completed the degree of doctor of engineering on September, 2012 from the Department of Information Systems, Kyutech. During my doctoral course at Kyutech, I have researched about the fluid-structure coupled problems on the small frying robot, which would be used for helping the disaster victims. I was so glad that my research could be useful for many people in the world, and also I could have a lot of good experiences for my life. Moreover, I have not only learned about the study life in University but also the social life in Japan. In University, I was found that the good system for study, which they have a good culture in laboratory. I have received a lot of supports from my advisors, my friends in laboratory, and also Kyutech's staffs. Furthermore, I had some opportunities to join some activities with Japan people in the community around Kyutech. Hence, I could learn both Japan culture and my Japanese. I have very appreciated that they have looked after me always, during I was the Kyutech's student. I hope that I could share all of the good things to many peoples in the world.

Especially, I have brought all most of my good experiences form Japan to teach the young generations and to do a research being useful for people. I wish that I would use the experiences from studying aboard to work not only for Thailand but also for the other countries.



情報システム専攻
H26年12月 博士後期課程修了
博士（情報工学）
Tran Thi Hong
(ベトナム人留学生)
現在：奈良先端科学技術大学院大学助教

After one year of an exchange student, and half year of a research assistant in Kyutech, I enrolled and became graduate student of Kyutech. I love the academic life here. Professors and people in Kyutech are very kind. About academic life, my laboratory provides enough equipment for my research. Professors and university provide many chances for students to attend international and domestic conferences. From that, students are able to visit many nice places and experience the life in other countries also. The library is a very good place for self-studying. It has a lot of useful books. Free Japanese classes with variety of level: beginner, intermediate, advanced, etc. are available for foreigner students. About accommodation: There are house with cheap price for foreigner students. For others, foreigner students are taken care very well here. There are many benefits and activities for them to joy and learn about Japan culture, such as: making Omochi, a special traditional cake of Japan, with Japanese people; leaning and enjoying Japan tea; Big party for foreigner student; traveling trip with special cheap price for foreigner students, etc. The citizens near university are also very kind. They many times go together with me and my friends to the nice places to relax and experience Japanese life. And they help us a lot. I am happy to be Kyutech student.



情報科学専攻
H26年3月 博士後期課程修了
博士 (情報工学)
Takenori Sakumura
作村 建紀
現在：中央大学理工学部助教

私は九州工業大学の情報工学部を卒業後、同大学大学院情報工学府博士前期課程を経て博士後期課程を修了しました。博士後期課程は3年制で、3年間で2つ以上の講義を受講します。それ以外は主に研究活動を行い、学位取得を目指します。具体的には3年間の課程で、学術雑誌への論文投稿や国際会議での口頭発表などの研究業績を残すことが必要です。その3年間の集大成を学位論文として一冊の本にまとめます。博士前期課程に比べて、研究に求められるレベルは非常に高いものとなり、その重圧は大きいですが、だからこそ研究の醍醐味が味わえると実感しています。



情報科学専攻
博士前期課程 修了
Taku Aratsu
荒津 拓
現在：日本アイ・ピー・エム株式会社
ソフトウェア開発研究所

現在、ソフトウェア開発研究所で、情報漏えい対策のソフトウェア開発を担当しています。仕事をしていて実感するのは、在学中に身に付けた基礎知識が非常に役立つということ。九工大のカリキュラムはコンピュータに関する知識を体系的に学べる仕組みなので、しっかり身に付いたのだと思います。また、ICTアーキテクトコースという人材育成のプログラムに参加してインドの大学で研修を受けたり、国際学会で論文発表をしたりと、貴重な海外体験をさせてもらったことで、国際的な視野を持つようになりました。このような機会をもらえたことに感謝しています。

今の会社を志望したのも、ICTアーキテクトコースのインターンシップでお世話になったことがきっかけです。国際的にチームを組んで挑戦するところにひかれました。現在は、製品の一部を開発していますが、将来は全体像をデザインして、世界中のお客様に利用してもらえる製品を作りたいと思っています。

九工大は、学ぼうという意思があればチャンスを与えてくれるところ。カリキュラムや設備の充実はもちろん、一人の先生が指導する学生の数が少ないというのも利点です。皆さんの将来に役立つ、密度の高い学びが得られますよ。



情報科学専攻
博士前期課程 修了
Yoko Satoh
佐藤 洋子
現在：株式会社富士通九州システムズ(FIQS)
テクノロジーソリューション本部
ライフサイエンスソリューション部

私はもともと生き物が好きで、生き物のことをコンピュータで解明するということに興味を持っていました。当時はまだ新しい分野でしたが、そういうことが学べる大学を探しているうちに、九工大の情報工学部に生命情報工学科(当時は生物化学システム工学科)があることを知り、進学を決めました。

入学してまず驚いたのは、1人1台コンピュータが使える環境が整っていたことです。生命科学の理論はもちろん、プログラミングの基礎から本格的なシステム開発までじっくりと学ぶことができました。

現在は、バイオインフォマティクス(生物情報科学)関連のシステム開発に携わっています。5~10名のチームで取り組んでいますが、そのプロジェクトリーダーを務めさせていただき、責任とやりがいを感じています。大学時代に学んだことがきちんと身につけていて、現在の仕事に大いに役立っていると実感しています。

これから大学を目指す皆さんは、できるだけ早いうちに、どういう職業に就きたいのか、目標を立てることが大切ではないかと思います。九工大に入れば、皆さんがやりたいこと、興味のあることを、基礎から応用・実践まで幅広く、深く学べます。きっと将来の夢や目標に近づくことができるでしょう。

7. 情報工学府 就職先一覧

平成27年3月卒業・修了者の就職先一覧です。

就職・進学先	計	男	女
九州工業大学博士後期課程	5	4	1
東京工業大学大学院博士後期課程	1	1	0
長崎大学大学院博士後期課程	1	1	0
名古屋大学大学院博士後期課程	1	0	1
日立製作所	9	9	0
富士通	6	5	1
トヨタ自動車	4	4	0
エヌ・ティ・ティ・データ (NTT データ)	3	3	0
KDDI	3	3	0
東芝	3	3	0
日本電気 (NEC)	3	2	1
野村総合研究所	3	3	0
日立ソリューションズ西日本	3	2	1
NS ソリューションズ西日本	2	2	0
大分 NS ソリューションズ	2	1	1
川崎重工業	2	2	0
キャノン	2	2	0
大日本印刷	2	2	0
東芝ソリューション	2	2	0
凸版印刷	2	2	0
日産自動車	2	2	0
日立アロカメティカル	2	2	0
富士通アドバンスエンジニアリング	2	2	0
富士通エフ・アイ・ピー	2	2	0
本田技研工業 (ホンダ)	2	2	0
三菱電機	2	2	0
アイ・エル・シー	1	1	0
アイシン・エイ・ダブリュ	1	1	0
アイシン・コムクルーズ	1	1	0
ANA システムズ	1	0	1
アルファシステムズ	1	1	0
EM システムズ	1	1	0
インテック	1	1	0
インフォセンス	1	1	0
宇部興産	1	1	0
エイチーム	1	1	0
AVC マルチメディアソフト	1	1	0
エクシース	1	1	0
SCSK	1	1	0
NRI システムテクノ	1	0	1
NEC ネットエスアイ	1	1	0
NSSLC サービス	1	1	0
NS プラント設計	1	1	0
NTT フィールドテクノ	1	1	0
荏原製作所 (荏原)	1	1	0
エフエム福岡	1	1	0
大分キャノン	1	0	1
オークマ	1	1	0
大島造船所	1	1	0
オービック	1	1	0
OKI ソフトウェア	1	1	0
オリンパス	1	1	0
学映システム	1	1	0
COLORS	1	1	0
九州工業大学 (教員・研究員・職員等)	1	1	0
九州大学 (教員・研究員・職員等)	1	1	0
九州地理情報	1	1	0
協栄産業	1	1	0
King Mongkut's University of Technology (教員・研究員・職員等) [タイ]	1	1	0
久原本家グループ本社	1	1	0
国土交通省	1	1	0
コニカミノルタ	1	1	0
コベルコ建機	1	1	0
小松製作所 (コマツ)	1	1	0
コンピューターサイエンス	1	1	0
佐世保重工業	1	1	0
山陽小野田市役所	1	1	0
シーエー・モバイル	1	1	0
CD - adapco	1	1	0
JFE 物流	1	1	0
ジャステック	1	1	0
ジャパンマリンユナイテッド	1	1	0
自由ヶ丘高等学校	1	1	0

就職・進学先	計	男	女
昭和鉄工	1	1	0
新日鐵住金	1	1	0
新日鐵住金ステンレス	1	1	0
新日鐵住金ソリューションズ	1	1	0
正興電機製作所	1	1	0
セイコーエプソン	1	1	0
ダイキエンジニアリング	1	1	0
ダイキン工業	1	1	0
タカラスタンダード	1	1	0
タカラトミー	1	1	0
タダノ	1	1	0
千代田化工建設	1	1	0
DMG 森精機	1	0	1
テルモ	1	1	0
デンソーテクノ	1	1	0
東亜非破壊検査	1	0	1
東芝 IT コントロールシステム	1	1	0
東芝三菱電機産業システム	1	1	0
トーエネック	1	1	0
TOTO	1	1	0
トヨタ車体研究所	1	1	0
TRIART	1	1	0
西日本旅客鉄道 (JR 西日本)	1	1	0
ニチコン	1	1	0
日揮	1	1	0
ニック	1	1	0
日鉄日立システムエンジニアリング	1	1	0
日本電管	1	1	0
日本電気航空宇宙システム (NEC 航空宇宙システム)	1	1	0
日本プロセス	1	0	1
日本ユニシス	1	1	0
ニプロ	1	1	0
ネオキャリア	1	1	0
パイブドピッツ	1	1	0
パナソニック	1	1	0
パナソニックシステムネットワークス	1	1	0
PFU	1	1	0
日立自動車系統 (蘇州) 有限公司【中国】	1	1	0
日立建機	1	1	0
日立システムズ	1	1	0
ピップシステムズ	1	1	0
ファナック	1	1	0
福岡 CSK	1	1	0
富士通九州システムサービス	1	1	0
富士通九州ネットワークテクノロジーズ	1	1	0
富士テクノ工業	1	1	0
富士電機 IT センター	1	1	0
ポッシュ	1	1	0
マツダ	1	1	0
マルボシ酢	1	0	1
三岩エンジニアリング	1	1	0
三菱自動車工業	1	1	0
三菱重工業	1	1	0
三菱スペース・ソフトウェア	1	1	0
三菱電機エンジニアリング	1	1	0
南日本放送	1	0	1
ムーンスター	1	1	0
村田製作所	1	1	0
メニコン	1	1	0
メルコ・パワー・システムズ	1	1	0
安川情報システム	1	1	0
安川電機	1	1	0
ヤマハ	1	1	0
ユー・エス・イー	1	1	0
ユードム	1	1	0
ユニ・チャーム	1	1	0
ヨコハマシステムズ	1	1	0
LINE Fukuoka	1	1	0
ラック	1	1	0
LIXIL	1	1	0
リコー IT ソリューションズ	1	1	0
菱友システム技術	1	1	0
和歌山工業高等専門学校 (教員・職員等)	1	1	0

8. スチューデント・レジデンス

日本人学生と留学生がともに生活することでグローバルマインドを養います。



清水 拓朗 さん
情報工学府博士前期課程情報創成工学専攻1年
リー グレンジャー さん
情報工学部特別聴講学生
アニザ ファデュリア さん
情報工学府博士前期課程情報創成工学専攻1年
上熊須 悦子 さん
情報工学府博士前期課程学際情報工学専攻1年



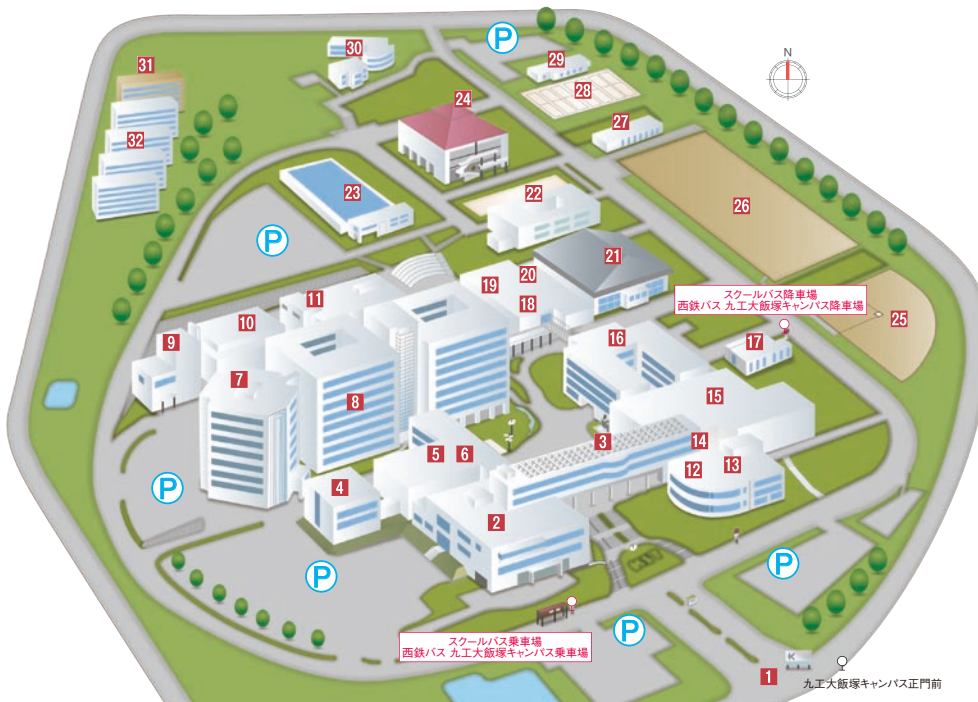
理解と思いやりで文化の壁を越える

スチューデント・レジデンスは、大学院生を中心に、外国人留学生及び日本人学生等に居住の場を提供し、併せて相互の国際交流の促進を図ることを目的として整備された居住施設です。

施設は情報工学部(飯塚キャンパス)内にあり、1戸3LDKを留学生2人と日本人1人でルームシェアするというもの。3LDKの3室が個室、LDKが共有空間となり、適度にプライベートを保ちながら、生活を共にすることができます。この施設で暮らすことにより、日常生活の中で英語に触れることができ、外国の文化や習慣に対する理解も深まります。

入居者の清水さんは「スチューデント・レジデンスでは、バス旅行やそうめん流しといった留学生も日本人も一緒になって行うイベントが定期的を実施されます。イベントでは、文化を共有したり、一緒に新しい発見を共有したりできるので新鮮な体験をすることができ、とても楽しいです。」グレンジャーさんは「スチューデント・レジデンスは日本人と留学生のルームシェア型の寮なので、日常生活の中で、お互いの習慣や文化に触れ合うことができました。留学生にとってスチューデント・レジデンスはクラスや研究室以外の友達が作れる大切な場所だと思います。」とスチューデント・レジデンスの魅力を語ってくれました。

キャンパスマップ



- 1 正門
- 2 研究管理棟
- 3 共通教育研究棟
- 4 インキュベーション施設
- 5 情報科学センター
- 6 学生談話室「オアシス」
- 7 総合研究棟
- 8 研究棟
- 9 研究棟サテライト1
- 10 実習棟
- 11 マイクロ化総合技術センター
- 12 附属図書館
- 13 ラーニングcommons
- 14 飯塚サイエンスギャラリー
- 15 大講義棟
- 16 講義棟
- 17 インタラクティブ学習棟 [MILAI*S*]
- 18 グローバルコミュニケーションラウンジ
- 19 キャリアセンター
- 20 福利施設(食堂・売店等)
- 21 ラーニングアゴラ棟
- 22 課外活動施設
- 23 プール
- 24 体育館
- 25 野球場
- 26 多目的グラウンド
- 27 体育器具庫
- 28 テニスコート
- 29 テニス器具庫
- 30 国際交流会館
- 31 スチューデント・レジデンス
- 32 職員宿舎



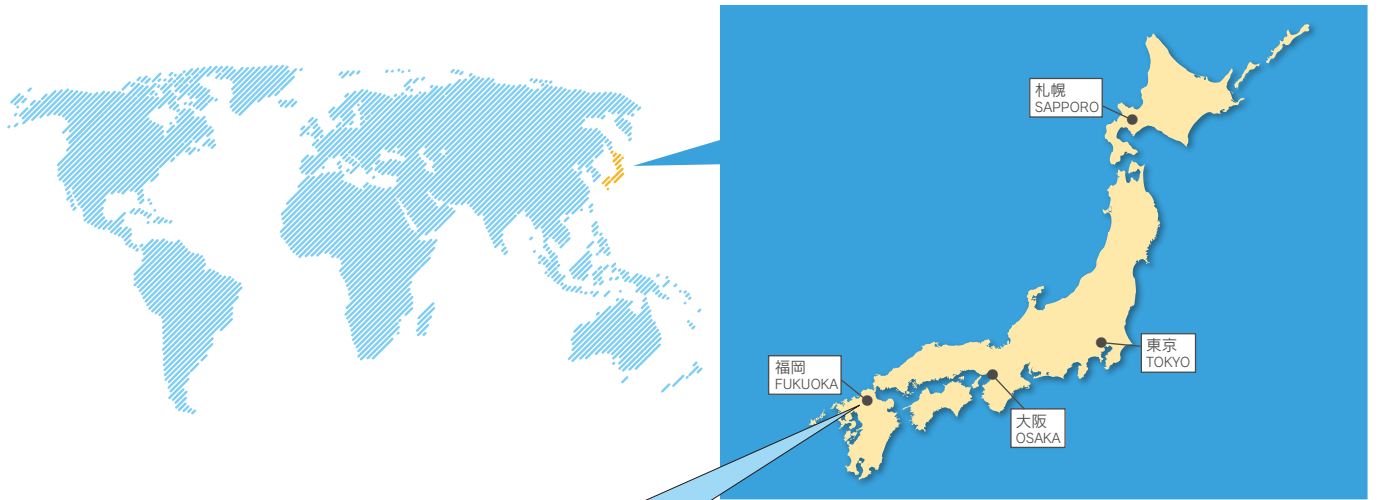
キャンパス全景



17 インタラクティブ学習棟 [MILAI*S*]



21 ラーニングアゴラ棟



福岡県の主要交通機関・道路と3キャンパス



◎主要な場所から飯塚キャンパスまでのアクセス時間

JR 小倉駅	▶ 95分	JR 博多駅	▶ 55分	天神	▶ 70分
北九州空港	▶ 95分	福岡空港	▶ 70分		

※アクセス時間はおおよその目安です。公共交通機関は乗り継ぎの時間を考慮し、余裕をもってお出かけください。

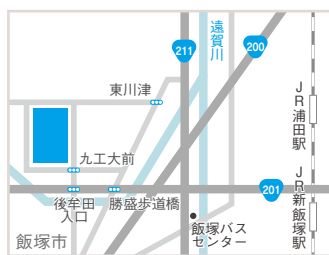
◎西鉄特急バスが飯塚キャンパス構内の運行を開始しました。

平成27年3月下旬より、福岡（天神）～八木山バイパス～飯塚バスセンター～飯塚キャンパス構内を運行しています。

◎飯塚キャンパス行スクールバスを運行しています。

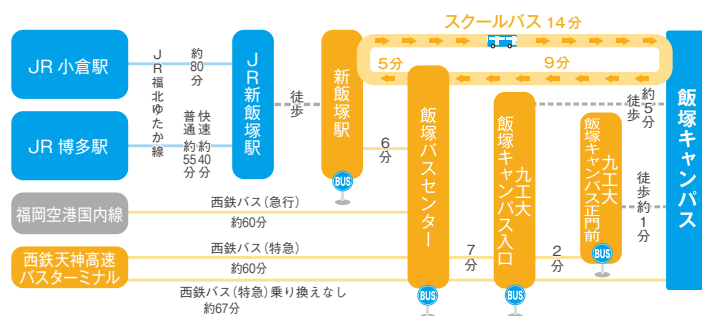
平日の8時～21時まで、主に始業・終業に合わせて10～45分間隔で運行しています（ただし授業期間外は減便運行）。

詳細は、http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/school_bus/を参照。



飯塚キャンパス

〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4
TEL 0948-29-7500(代)



<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/>

